

# 嶺南学園敦賀気比高等学校

気比の松原におけるマイクロプラスチックの実態調査



気比の松原

## 地元の景勝地を守りたい!

### マイクロプラスチックに危機感

福井県敦賀市にある気比の松原は、三保の松原（静岡県）、虹の松原（佐賀県）と並んで日本三大松原に数えられる。しかし、この北陸有数の景勝地も環境問題と無縁ではない。約1kmにわたって美しい砂浜が続くが、場所によってはプラスチックごみ、特にマイクロプラスチックが打ち上げられている。

これを目の当たりして立ち上がったのが、昨年創部したばかりの敦賀気比高校科学同好会だ。1年生の北野遙輝さんは「きれいなことで有名な気比の松原が汚れていると、いずれ敦賀に人が来なくなるのではないかと心配になります」と危機感を抱く。こうした思いから、気比の松原のマイクロプラスチック調査という研究テーマが自然発生的に決まった。



昨年創部したばかりの科学同好会だが、活動は活発だ



飽和食塩水を用いてマイクロプラスチックを分離する



小さなマイクロプラスチックは回収が難しい  
2021.07.26



気比の松原は生徒にとって最も身近な海水浴場だ



きれいな砂浜だが、場所によってはゴミが集まっている

### 持続可能な社会に必要な人材

科学同好会では、活動を通じて「課題発見能力・課題解決能力・コミュニケーション能力」を獲得し、持続可能な社会の実現に向けた人材の育成を目指している。顧問の道白隆志教諭は「まだまだ実践できてはいませんが……」と言うものの、すでに部員たちは課題発見能力を発揮して、自分たちで研究テーマを決めた。2年生の野瀬琴羽さんは「コロナ禍でどこにも行けなかったことで、逆にみんなの目が地元の課題に向かったのだと思います。また、SDGs(持続可能な開発目標)を意識して、将来のことを考えるようにもなりました」と研究テーマ決定のプロセスを話す。

現在、科学同好会はマイクロプラスチックの採取調査を重ねて材質の分析などを行っているが、今後はゼブラフィッシュなどを用いた生物への影響調査も進める予定だ。研究の高度化に伴い、目指す人物像への成長も大いに期待できそうだ。(個別助成)

#### ●実施担当

道白隆志 教諭

#### ●活動のモットー

生徒が楽しいと思うことが一番大切。それを原動力にいろいろなことにチャレンジして豊かな人生を歩んでほしい。



#### 学校概要



付属中学校を有する私立の中高一貫校。校訓は「時習・自律・慈愛」。野球部は全国制覇経験もある甲子園常連校として知られる。

設立：1986年  
生徒数：679人  
所在地：福井県敦賀市沓見164号1番地

この活動は、中谷医工計測技術振興財団の「科学教育振興助成」により行われています。



公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団 〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目2番2号 アートヴィレッジ大崎 セントラルタワー8階

シスメックス株式会社創立者の故・中谷太郎氏が私財を投じて設立。医工計測技術分野の発展を願い、「中谷賞」をはじめ各種研究助成、若手研究者支援や国際交流事業を展開。さらに、すそ野拡大のため、科学教育振興活動などに対し、幅広い助成事業を行っています。

中谷財団

検索